



立ち入り調査で、鉛精練の廃水処理状況を確認する住民ら＝1982年8月、神岡鉱業所

2021.9.25 北日本新聞

汚染地下水を封じ込め

神通川の水質改善に大きく貢献したのは、カドミウムに汚染された山地下水の流出防止策だった。

工場からのカドミウム漏れによって生じた汚染地下水は、工場地下の水路に流れ出し、神通川上流に注ぎ込んでいた。1977年の住民側の調査で判明し、現在は水路付近に設けた25カ所の井戸で汚染水をくみ上げるなどして、流出を防いでいる。

★住民側学者グループの元大阪市立大大学院教授、畑明郎さん(75)「滋

神岡の経験 福島で生かせ

賀県は「カドミウム濃度の高い地下水が水路へ流れ込む場所に井戸を集中させることで、効果を高めた」と話す。

水路へのカドミウム排出量をゼロに近づけることができた。

東京電力福島第1原発事故処理でも、建屋への地下水流入の防止が課題となっている。畑さんは「神岡の経験を生かし、地下水を遮る壁や井戸などの設置を幅広く考えるべきだ」と提案する。